

ともに生きる^{わかやま}地域社会の実現をめざして

令和8年度 和歌山県地域福祉推進フォーラム 開催要項

～大規模災害時における多機関連携のあり方を問う～

1. 趣旨

令和7年7月、災害対策基本法等が改正され、救助の種類に「福祉サービスの提供」が追加されるなど、災害時における福祉的支援の重要性が高まっています。

また、南海トラフ巨大地震等の大規模・広域災害に備え、発災時に被災者に寄り添った支援を行うためには、平時から支援人材の育成・研修・訓練、災害支援関係者の連携・協働に向けた体制整備の強化は必要不可欠です。

こうしたなか、本会では、県災害ボランティアセンター及び災害派遣福祉チーム（県と共同事務局）を基軸に、災害支援をより効果的に行い、被災者支援を円滑にするための常設型の調整機関として、令和8年4月1日に「和歌山県災害福祉支援センター」を設置し、平時・有事の災害福祉支援体制の強化を図っています。

本フォーラムは、災害福祉支援に関わる者等が一堂に会し、県域における被災者生活再建のための連携について共通認識を深め、互いの役割を理解することで、県内の災害支援力の向上を図ることを目的に開催します。

2. 主催 社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

3. 共催 和歌山県市町村社協連絡協議会

4. 後援（予定）

和歌山県、和歌山県民生委員児童委員協議会、和歌山県ボランティア連絡協議会、和歌山県社会福祉法人経営者協議会、和歌山県社会福祉法人経営青年会、社会福祉法人和歌山県共同募金会

5. 日時 令和8年12月14日（月） 13時～16時

6. 会場 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛1階 大ホール

（和歌山市手平2丁目1-2）

7. 参加対象 （参加定員：200名・先着順）

市町村社協役職員、社会福祉施設役職員、民生委員・児童委員、ボランティア・NPO、企業、行政職員、学生、その他地域福祉、災害支援に関心のある方

8. 内容

13時00分～16時00分【180分】

(1) 開会・オリエンテーション

13時00分～13時10分

(2) 基調講演「災害医療の視点から見る福祉支援の重要性」13時10分～13時50分

講師：京都大学ヘルスセキュリティセンター 健康危機管理多分野連携学 特定研究員

国立健康危機管理研究機構 DMAT 事務局 非常勤医師 是枝 大輔 氏

平成7年の阪神淡路大震災をきっかけとし、災害超急性期に救急医療を提供することを目的に創設されたDMAT（災害派遣医療チーム：平成17年4月創設）。DMAT事務局としてこれまで数々の災害現場を経験された中、災害医療の視点から見る福祉支援の重要性についてご講演いただきます。

(3) パネルディスカッション

14時00分～16時00分

「大規模災害時における被災者生活再建と多機関連携のあり方とは」

大規模災害時における被災者の生活再建には、保健・医療・福祉分野の連携はもちろん、環境やまちづくり等も含めた幅広いニーズに対応するため、官民連携・多機関連携がカギになります。

パネルディスカッションでは、にいがた災害ボランティアネットワーク理事長の李氏をコーディネーターに迎え、県内の支援関係者とともにそのあり方を考えます。

【コーディネーター】 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

【コメンテーター】

是枝 大輔 氏

【パネリスト】

○ 和歌山県 防災企画課

主査 木澤 英之 氏

○ 社会福祉法人寿敬会 養護老人ホーム大日山荘

施設長 高木 久登 氏

○ 和歌山県 NPO サポートセンター

センター長 志場 久起 氏

○ 社会福祉法人かつらぎ町社会福祉協議会

事務局長 山本 幸則 氏

9. 申込方法 別紙「参加申込書」により FAX またはグーグルフォームからお申込みください。申込受付後、参加確認券等の発行は行いません。

Google フォーム <https://forms.gle/eu9XKaPXpBFh1CTV9>



【申込期限】令和8年12月7日（月）

※個人情報の取扱い…「参加申込書」に記載の個人情報は、本フォーラム運営管理のために利用します。

10. お申込み・お問合せ先 社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会 総務企画部 企画班

〒640-8545 和歌山市手平2丁目1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛7階

TEL：073-435-5222 FAX：073-435-5226

メール：kikaku@wakayamakenshakyō.or.jp



このフォーラムは、一部「赤い羽根共同募金」の配分を受けて実施しています。